

■宮城会長



皆様、こんにちは！

昨年の東日本大震災の経験から全国において、津波に対する防災計画が見直されつつありますが、今朝の朝刊で沖縄県は海拔22m以下が危険であるとの発表された模様です。かつての先島諸島を襲った明和の津波高40m超とは行かなくても、琉球大学の仲座教授などが最近発表し、警鐘した20mともかけ離れています。

先日東京湾でも津波高2mを想定と発表されたようですが、津波の影響は陸上への遡上高です。風により発生する波の高さとは違いますので、海底地形、陸上地形によってその遡上する位置は大きく違いまし、過小評価ではないか？按ずる2m高の根拠も含めて、県民に十分な説明することが肝要と云えます。

話は移りますが、先週も話しましたが、名古屋守山RCと交流する目的で6月中に日程を設定したいと云う事について、6月14(木)、15(金)の1泊2日と18(月)、19(火)の2案を回覧しますので、参加希望の段に記載して下さい。多くの方の参加をお願い致します。

最後になりますが、週報3ページに掲載されています、トンガ国への「ソロバン」の提供募集について再度呼びかけたいと思います。会員の中には「どこに置いたかな～」という声もありましたが、それだけ不要な物という証しですので、どうぞ捜しだして寄贈下さる様お願い致します。